

野研びより

昆虫編 6号

野外生物生態調査研究部 昆虫班

2016年 6月

アオスジアゲハ（青条揚羽）別名：クロタイマイ

学名：*Graphium sarpedon*¹⁾

チョウ目 アゲハチョウ上科 アゲハチョウ科 アオスジアゲハ属¹⁾

体長：30~45mm¹⁾

分布：秋田、岩手の南部以南が北限¹⁾

時期：5月~10月¹⁾



図1. 吸蜜するアオスジアゲハ³⁾



図2. 野外調査で確認、捕獲したアオスジアゲハ
(2016/4/2撮影)

参考文献

1) アオスジアゲハ-Wikipedia

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%82%A2%E3%82%AA%E3%82%B9%E3%82%B8%E3%82%A2%E3%82%82%B2%E3%83%8F>

2) Hondaキャンプ 生き物図鑑

<http://www.honda.co.jp/outdoor/knowledge/adventure/picturebook/aosujiageha/>

3) 北摂の生き物 蝶の暮らし 町のチョウ

<http://www.hokusetsuikimono.com/butterfly/aosujiageha/100911aosujiageha-O1.JPG>

〈特徴〉

飛び方は敏捷で飛翔力が高く、樹木や花の蜜をエサとするので、それらのまわりをめまぐるしく飛び回っていることが多い²⁾。オスは、湿った地面で吸水することが多く、普段は俊敏で捕まえにくいが、吸水中は地面に止まっているので捕まえやすい。アゲハチョウ類にはめずらしく、静止時には翅を閉じて止まることが多い。

〈成長〉

5月から10月にかけて年間で約2~4回発生する^{1) 2)}。幼虫の時は、クスノキやタブノキなどを食べて生活している。幼虫は5回の脱皮を行い蛹になり、やがて成虫になる。幼虫の期間は約1ヶ月で、蛹の期間にはばらつきがあり、蛹の期間に関するデータが少ないため蛹の期間は特定できない。一般のアゲハチョウ類とは異なり、幹ではなく葉に蛹を形成する。野外生物生態調査研究部は、4月の野外調査において宮崎大学木花キャンパス南側周辺で一月早く確認した。